

TOTO

# オートソープディスペンサー（自動水石けん供給栓）

TLK0110\*型・TLK0700\*J型  
TLK0800\*J型・TLK06001J型  
（\*には「1・2・3・4」いずれかの数字が入ります）



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。



## 1. 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）







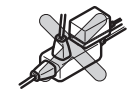
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。








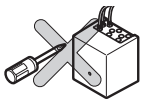




●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。




●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 <b>禁止</b>	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 <b>必ず実行</b>	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

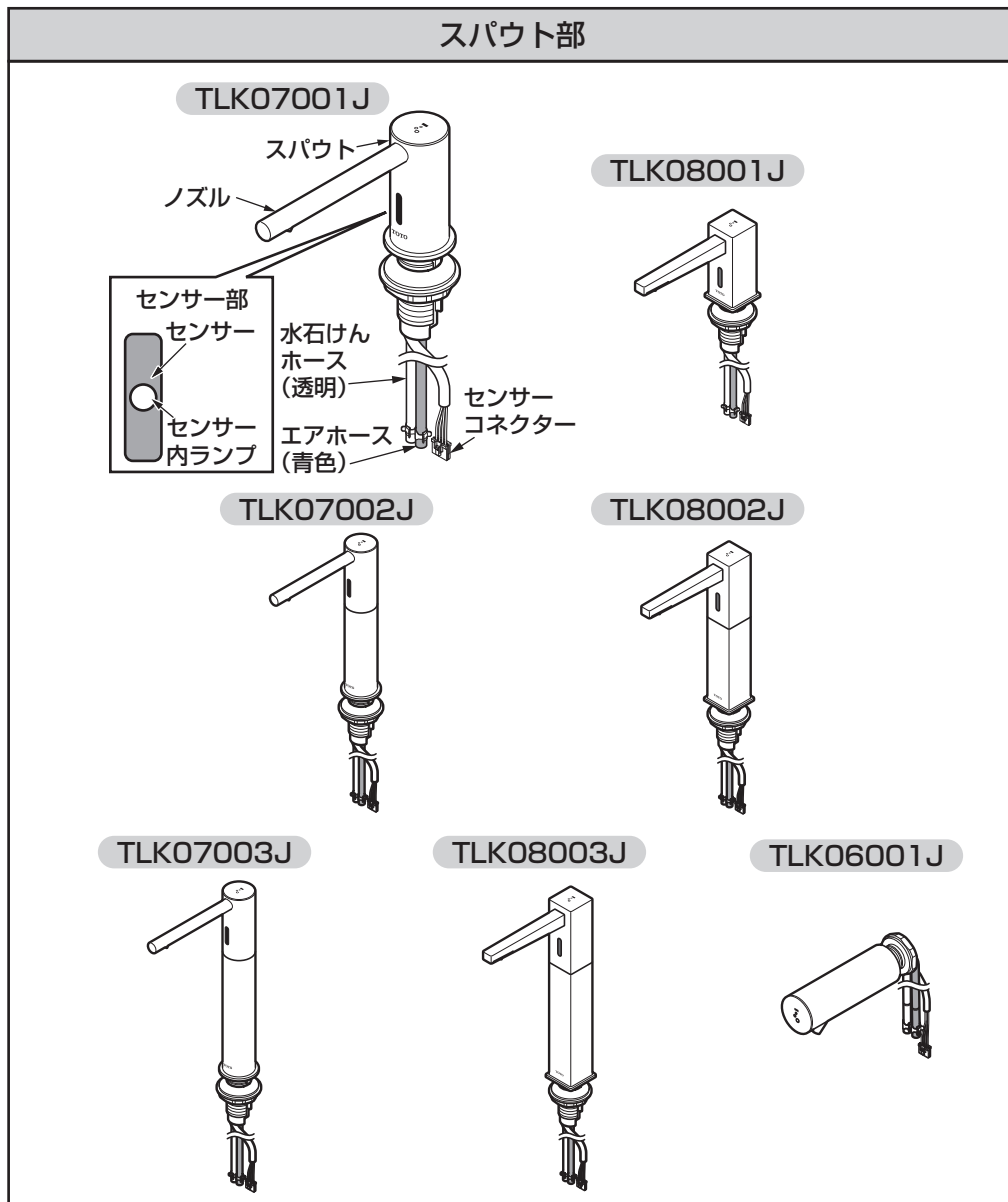
 <b>警告</b>		
 <b>禁止</b>	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。	
	電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。	
	指定する電源（AC100V）以外では使用しない 火災の原因になります。	
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 火災や感電の原因になります。	

 <b>警告</b>		
 <b>接触禁止</b>	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。	
	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 火災の原因になります。	
 <b>水場使用禁止</b>	浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。	
 <b>分解禁止</b>	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。	
 <b>必ず実行</b>	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。	
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。	
	コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること 火災や感電の原因になります。	

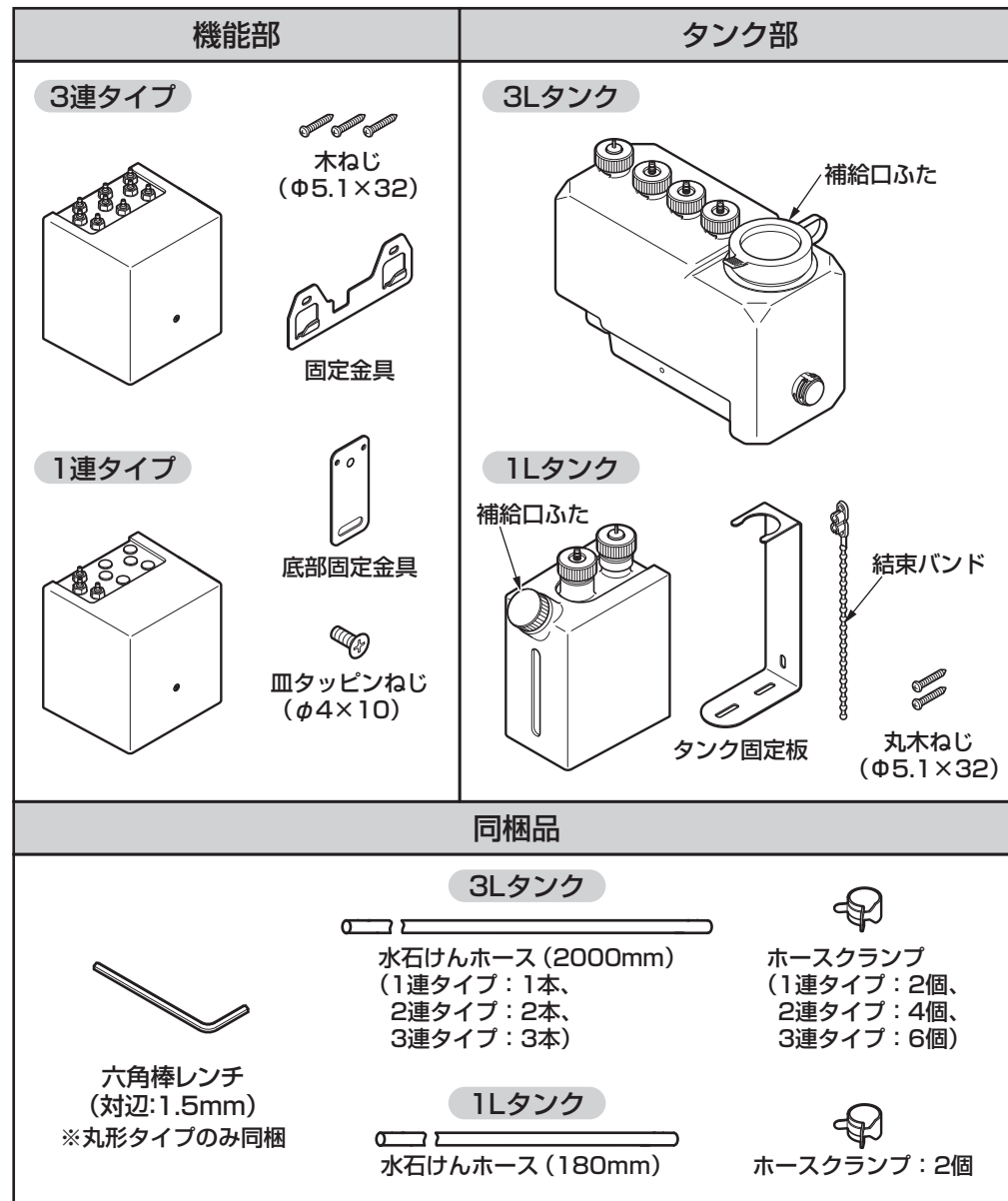
 <b>注意</b>		
 <b>禁止</b>	強い力や衝撃を与えない 破損して、けがをしたり、故障や水石けん漏れの原因になります。	

## 2. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※3Lタンクが露出する場合は床固定用ブラケット(別売品: THD84)で固定してください。  
 ※壁面へ3Lタンクを固定する場合は壁固定用ブラケット(別売品: THD85)をご使用ください。

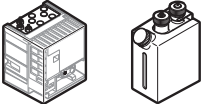
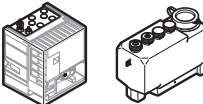
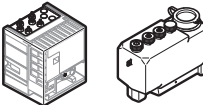
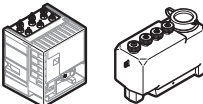


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。





### 3. 仕様

#### <対象品番>


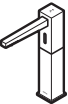
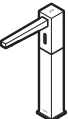
##### 機能部

形状	品番	タンク	連立数			ホース クランプ 同梱数量
			1連	2連	3連	
	TLK01104J*	1L	●			2
	TLK01101J*	3L	●			2
	TLK01102J*			●		4
	TLK01103J*				●	6

##### スパウト

形状	品番	備考	ホース クランプ 同梱数量
壁付け 	TLK06001J		2
丸形 	TLK07001J	高さ 77mm	2
丸形 	TLK07002J	高さ 180mm	2
丸形 	TLK07003J	高さ 220mm	2

##### スパウト

形状	品番	備考	ホース クランプ 同梱数量
角形 	TLK08001J	高さ 83mm	2
角形 	TLK08002J	高さ 186mm	2
角形 	TLK08003J	高さ 226mm	2

電源電圧		AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時	0.4W
	1連	4W
	2連	6.5W
	3連	9W
感知距離		約10cm (手のひらをセンサーに向けたとき) ※手の出しかたによって感知距離は前後します。
使用環境温度		1~40℃
電源コード長さ		900mm
ホース 長さ	スパウトー機能部	1.8m
	機能部ータンク	2m (3Lタンク) または0.18m (1Lタンク)
タンク容量		約3L (使用可能量) または約1L (使用可能量)
吐出量		約1.2g/回 ※コネクターの抜き差しにより 約1.2g(0.5秒)or約1.7g(0.7秒)の選択が可能

## 4. 取り付け前に

### 1. 配線について

- 電源はAC100V(50/60Hz)、消費電力は右記のとおりです。  
これに適した配線をしてください。

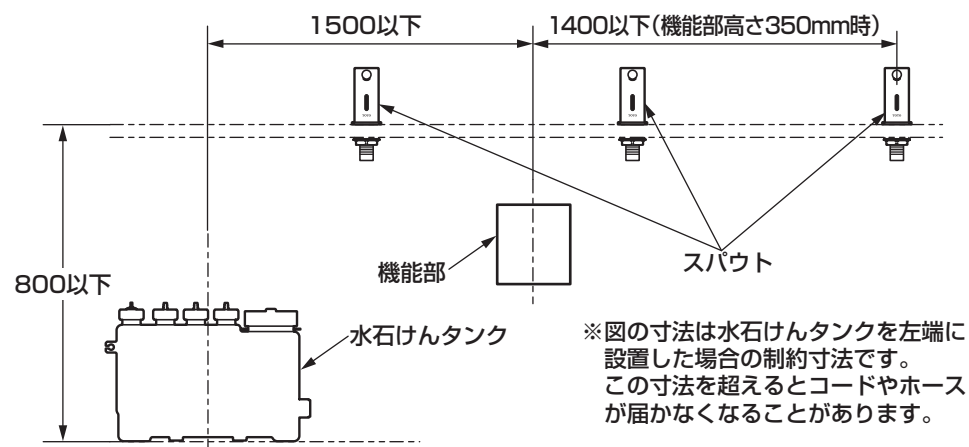
	ムース状
1連	4W
2連	6.5W
3連	9W

### 2. その他

- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- 本商品は取付穴φ25、φ28に対応しています。φ35には取り付けないでください。商品と取付穴にすき間が発生し、カウンター内をぬらすおそれがあります。

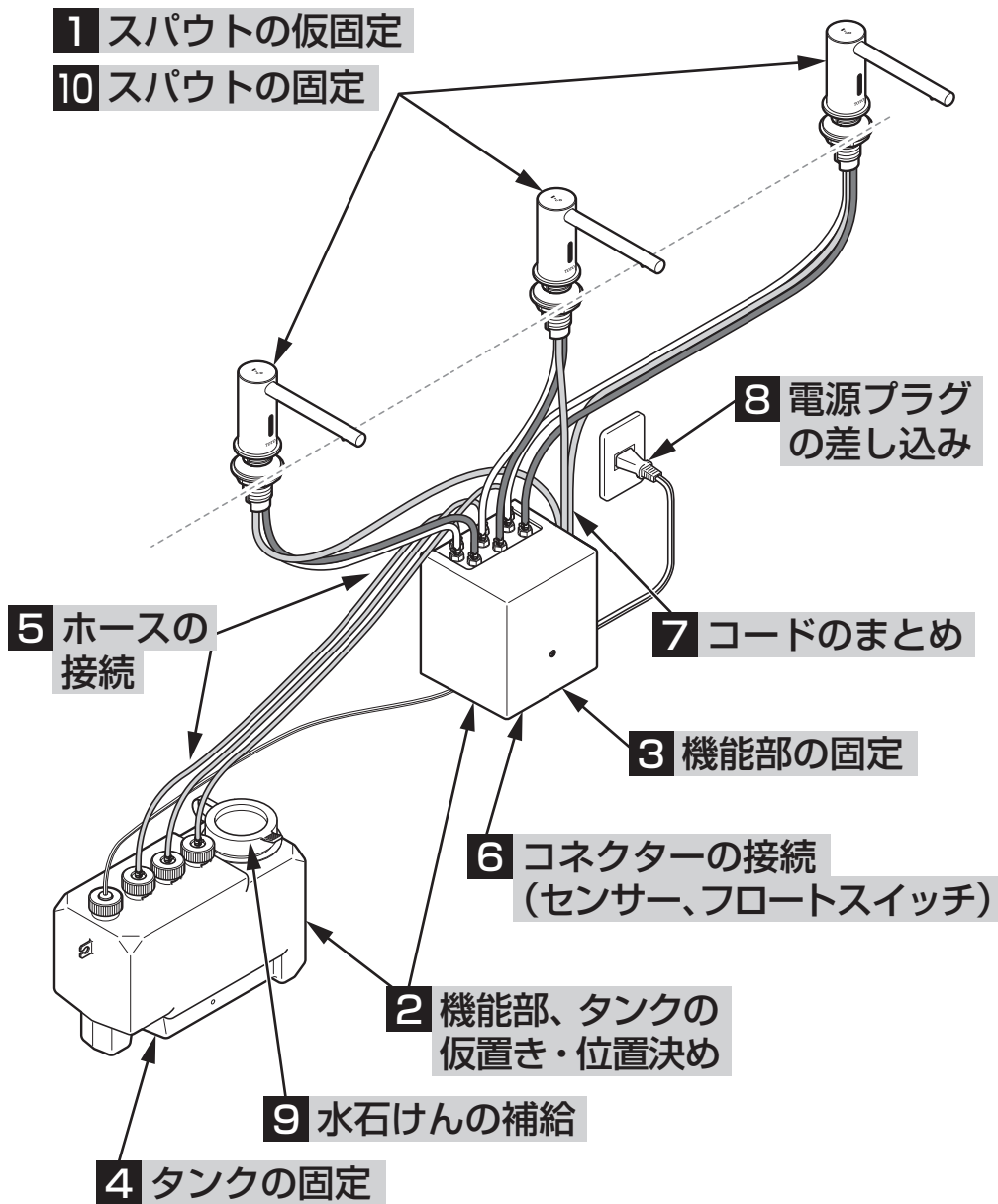
## 5. 機能部、タンクとスパウトの位置

(単位：mm)



- 排水金具の左側に電温が設置される場合は機能部、タンクともに排水金具の右側に設置してください。
- 水石けんタンクはカウンター上面より下800mm以内かつ機能部上端の高さを超えないように設置してください。カウンター上の設置や階下の設置はできません。この範囲を越えて設置すると吐出量が少ない、水石けんが泡状にならないなどの不具合がおきる場合があります。
- スパウトに接続されているホースは1.8mです。機能部へホースが接続できるように機能部を設置してください。

# 6-1. 施工手順



## 注意

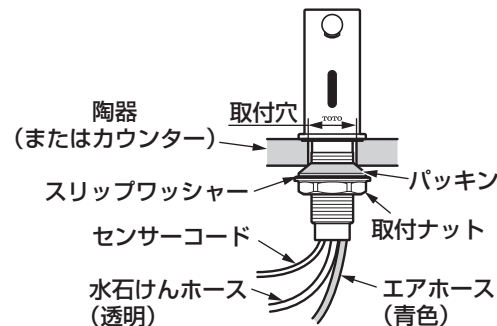
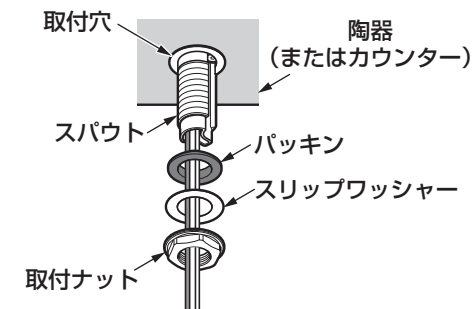
- クリーンドライ(温風乾燥機)などのセットでは、クリーンドライのセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
- コード・ホースは給湯管にふれないようにしてください。

## 1-1 スパウトの仮固定

TLK0700\*型の場合  
TLK0800\*型の場合

- ①パッキンをスパウトに取り付ける。
- ②スパウトを取付穴に差し込む。
- ③スパウトから出ているコードとホースにパッキン、スリップワッシャー、取付ナットの順番で入れ込む。
- ④パッキンとスリップワッシャーを取り付け、取付ナットで締め付ける。  
※本体は使用する向きにあわせて固定してください。

TLK0700\*型の場合 TLK0800\*型の場合



## 注意

- 取り付けのときノズルに無理な力を加えないでください。
- コード類、ホース類のかみ込みに注意してください。

## 1-2 スパウトの仮固定(つづき)

## TLK06001型の場合

- ① 固定金具にパッキンを取り付け、洗面器(またはカウンター)の取付穴に裏側から差し込む。
- ② 洗面器(またはカウンター)の表面からナットを取り付け、固定金具を仮固定する。

## 注意

固定金具およびナットを取付穴の中央に取り付けてください。

- ③ 固定金具をスパナで固定し、表面のナットをスパナで回してしっかり固定する。

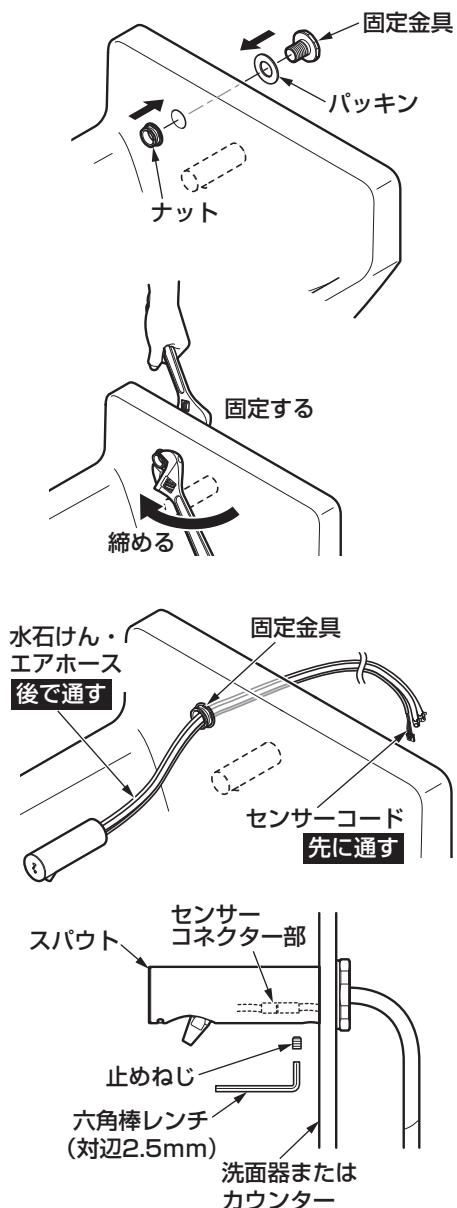
- ④ 固定金具にセンサーコードと水石けん・エアホースを通す。

## 注意

固定金具にセンサーコードを先に通したあと、水石けん・エアホースを通してください。

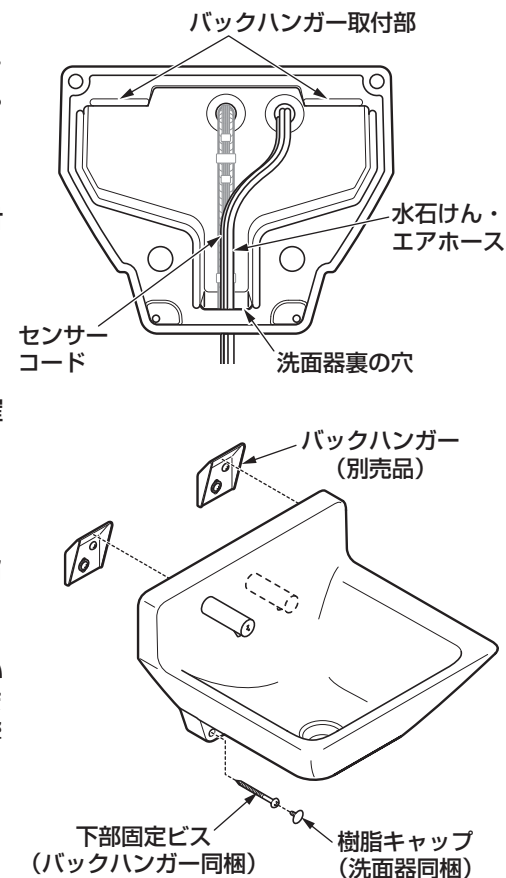
- ⑤ スパウトを洗面器(またはカウンター)面に密着させ、六角棒レンチ(対辺2.5mm)を使用して止めねじで固定する。

スパウトが洗面器(またはカウンター)に密着しない場合は、センサーコネクタースパウトの上側の奥まで入れてください。



## 壁掛洗面器に取り付ける場合

- ⑥ センサーコードおよび水石けん・エアホースを洗面器裏の穴に通す。
- ⑦ 洗面器をバックハンガーに取り付ける。
- ⑧ センサーコードおよび水石けん・エアホースのかみ込みがないか確認する。



- ⑨ 下部固定穴に固定ビスと樹脂キャップを取り付ける。

※陶器形状は設置後容易に見えない部分において異なることがあります。(施工性やその他の機能に影響ありません。)

## 2 機能部、タンクの仮置き・位置決め

- ① 機能部、タンクを仮置きする。

## 注意

5. 機能部、タンクとスパウトの位置 の位置関係を守って正しく設置してください。

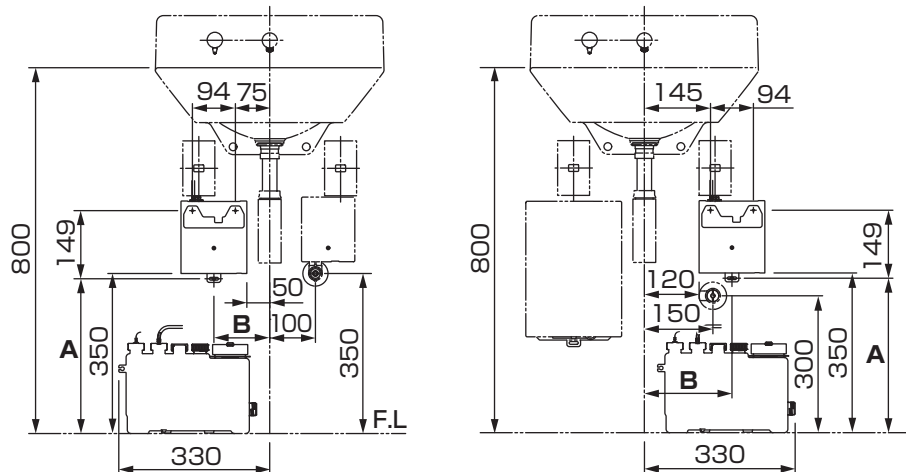
- ② タンクからスパウトまでコードおよび水石けんホースが届くことを確認する。

3-1 機能部の固定

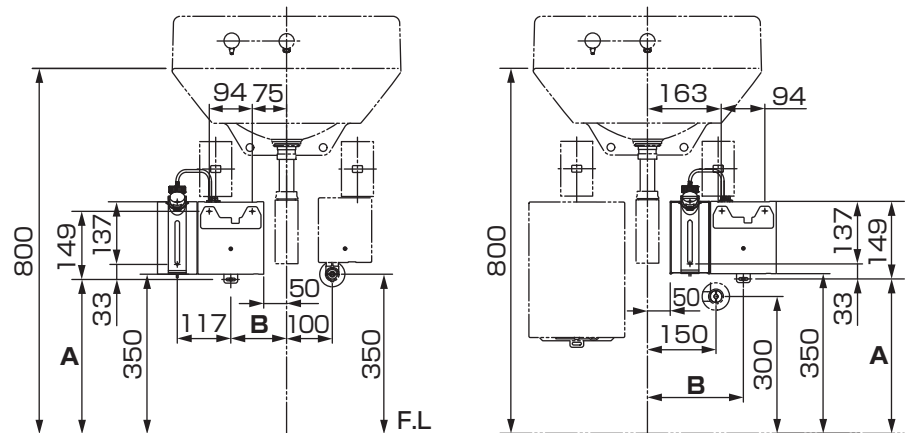
(単位：mm)

寸法図 (設置例)

3Lタンクの場合



1Lタンクの場合



注意

1Lタンクは必ず正面から見て機能部の左側へ配置してください。同梱のホースが届きません。

洗面器下の空間をきれいに見せるための1例です。設置器具によってオートソープの機能部の位置が異なります。必ずセット図をご確認ください。下表をもとに固定ねじの位置決めを行ってください。

(単位：mm)

設置器具	単水栓		サーモ		壁掛け電温 (1Lタンク)		壁掛け電温 (3Lタンク)	
	壁給水	床給水	壁給水	床給水	壁給水	床給水	壁給水	床給水
設置寸法								
床～機能部下部の寸法	350		270		350			
排水芯～機能部側面の寸法	50	100	50	100	50	100	50	100
A寸法 (床から基準固定ねじの距離)	339		259		339		339	
B寸法 (排水芯から基準固定ねじの距離)	122	172	122	172	210	260	192	242

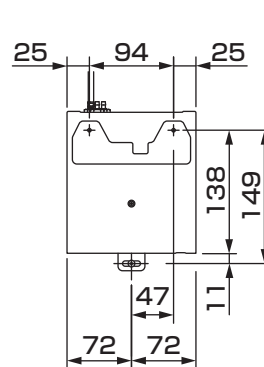
注意

壁掛け電温設置の場合はオートソープディスペンサーの機能部は正面から見て右側に配置してください。

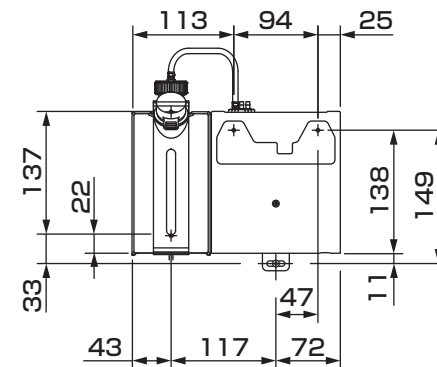
側面・下面とねじ位置の関係

(単位：mm)

3Lタンク



1Lタンク



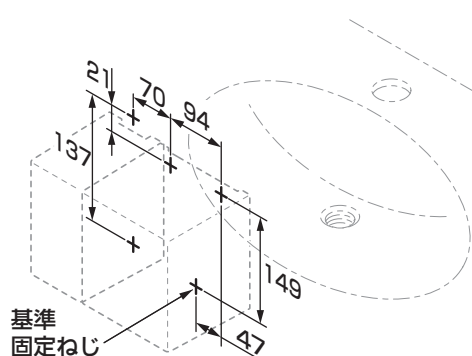
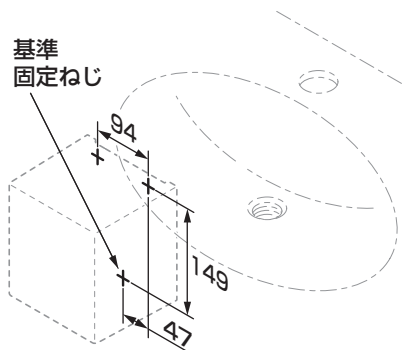
## 3-2 機能部の固定(つづき)

固定金具のねじ穴位置のけがき  
機能部の固定位置を決め、寸法図を参考に、壁に固定金具  
および底部固定金具のねじ穴位置をけがく。

(単位: mm)

### 3Lタンクの場合

### 1Lタンクの場合



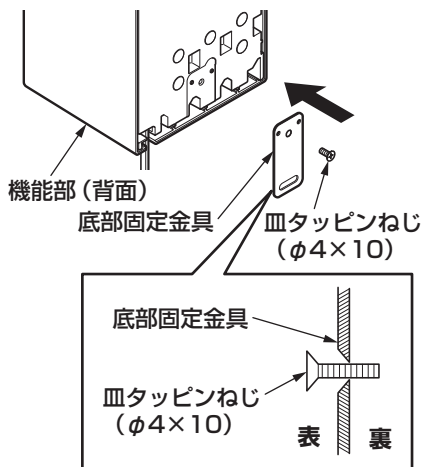
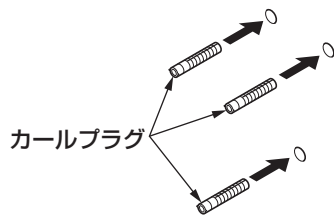
### タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合

- ①ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ(現場手配)を打ち込む。  
※カールプラグは木ねじ(φ5.1×32)に合うものを手配してください。

- ②機能部に底部固定金具を皿タッピンねじ1本で固定する。

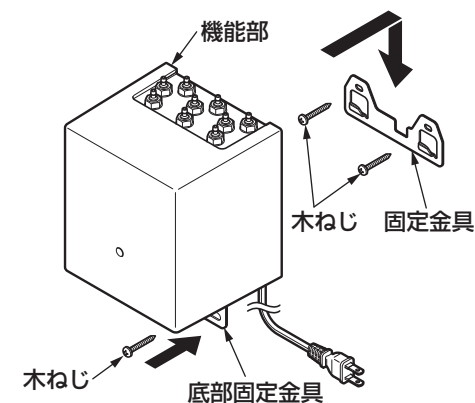
#### 注意

- 電動ドライバーなどを使わずに、手締めをしてください。
- 底部固定金具は表と裏を間違えないようにしてください。



- ③固定金具を位置にあわせて木ねじ2本で固定する。

- ④固定金具へ機能部を引っ掛け、底部固定金具を木ねじ1本で固定する。



### 木製の壁材に取り付ける場合

機能部(3連タイプ)の質量(約2kg)に耐えうる構造(乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に12mm以上のJAS規格合板相当をお使いください)であることを確認し、固定金具を木ねじ2本で固定し底部固定金具を木ねじ1本で固定する。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

#### 注意

- 本体が水平になるように取り付けてください。
- 電源コードのかみ込み、エッジ部への接触などに注意してください。

裏面へつづく



## 4 タンクの固定

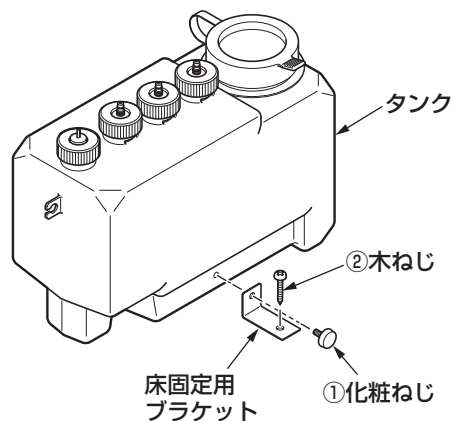
## 床に固定する場合

床固定用ブラケット(別売品:THD84)を使って、タンクを床に固定する。

- ①タンクと床固定用ブラケットを化粧ねじで手締めにて固定する。
- ②木ねじにて床に固定する。

## 注意

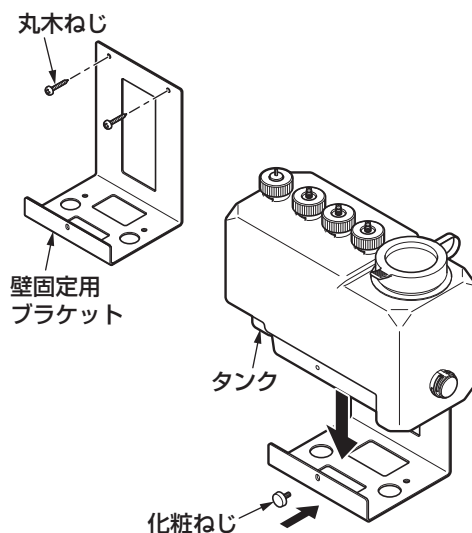
床がコンクリートの場合は先にカールプラグを埋め込んでください。



## 壁に固定する場合

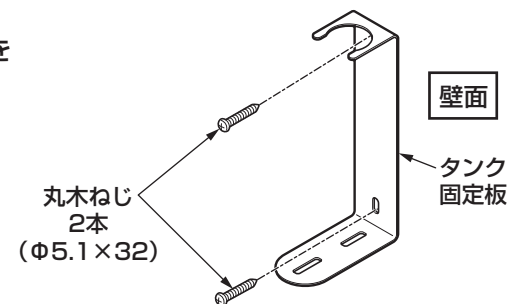
## 3Lタンクの場合

壁固定用ブラケット(別売品:THD85)を使って、タンクを壁に固定する。(取付方法は別売品:THD85に同梱の説明書をご覧ください。)

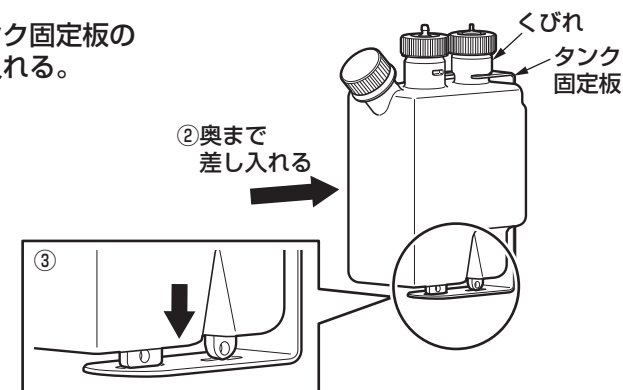


## 1Lタンクの場合

- ①付属の丸木ねじでタンク固定板を固定する。



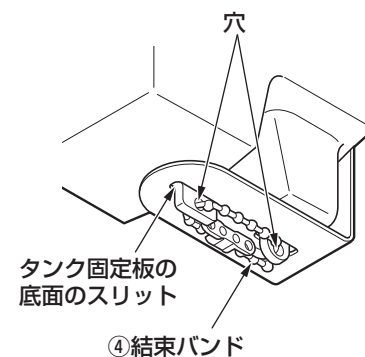
- ②タンクのくびれをタンク固定板の間に通し奥まで差し入れる。



- ③タンク固定板の底面のスリットにタンクを差し込み2つの穴を通す。

- ④結束バンドを取り付ける。

※結束バンドは不意にぶつかるなどした場合にタンクの脱落を防止するものです。壁裏などタンクを隠蔽して設置する場合は結束バンドの取り付けは不要です。



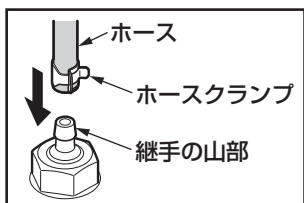
## 5 ホースの接続

- ①ホースを接続部まで適切な長さに切断する。  
(スパウトと機能部間)  
(機能部とタンク間)

### 注意

カッターなどを用い、切断面が垂直になるように切ってください。

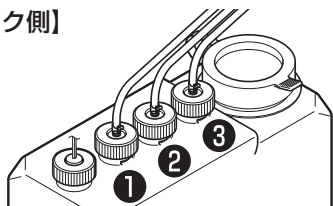
- ②ホースを奥まで差し込み、ホースクランプを継手の山の部分にかぶせて確実に固定してください。



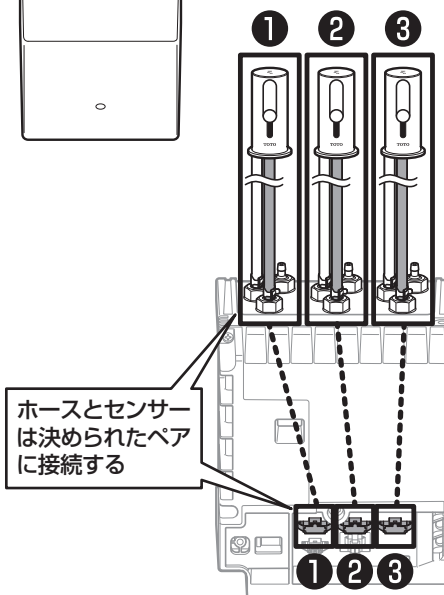
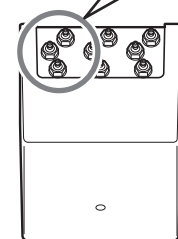
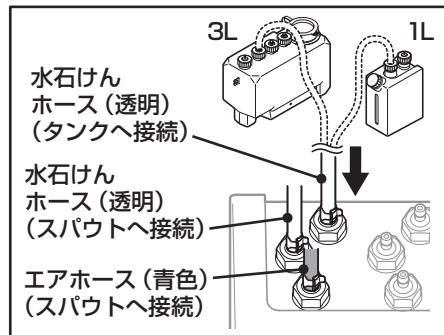
### 注意

- ホースとセンサーは決められたペアに接続する。
- ホースを差し込む際に、タンクの継手に強い力がかからないように注意してください。
- ホースの折れ曲がりのないよう注意してください。

【タンク側】



【機能部側】



- ※1連タイプは①のみ接続する  
(その他の位置では動作しません)  
※2連タイプは①、②に接続する  
(③は動作しません)

## 6 コネクターの接続 (センサー、フロートスイッチ)

機能部カバーを外してセンサーコネクター、フロートスイッチコネクターを接続する。

センサーコネクターは所定の位置にホースとペアで接続する。

1連設置の場合 1カ所接続

【センサー用コネクター① (白)のみ】

2連設置の場合 2カ所接続

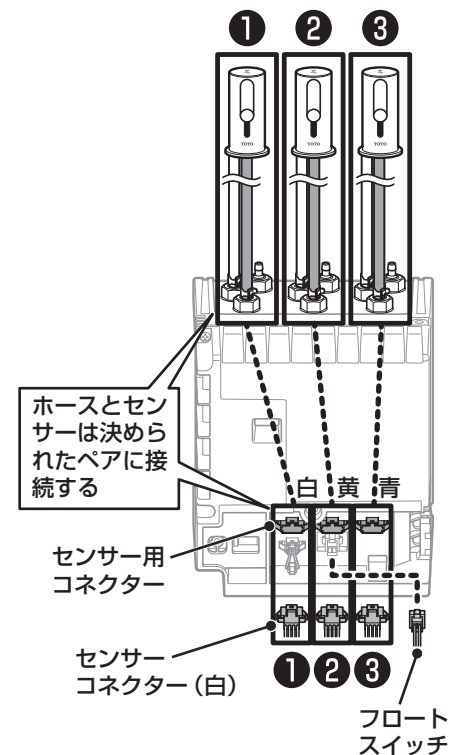
【センサー用コネクター① (白)、② (黄)】

3連設置の場合 3カ所接続

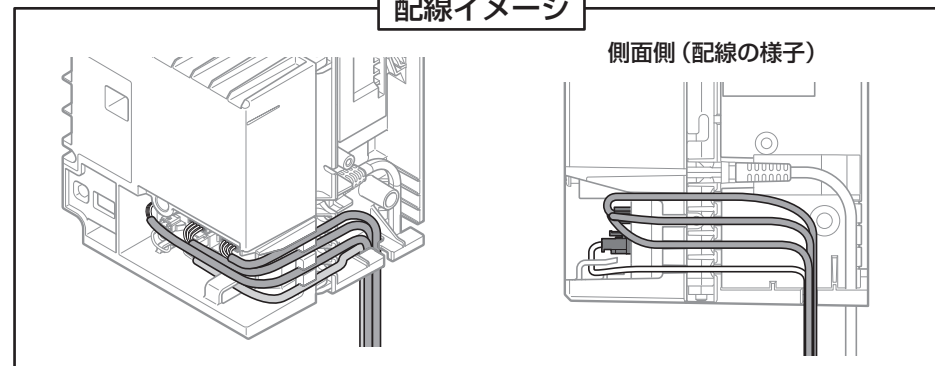
【センサー用コネクター① (白)、② (黄)、③ (青)】

### 注意

スパウトに接続されているセンサーのコネクターの色はすべて白です。  
機能部に配置してあるコネクターの色は白、黄、青です。  
違う色同士が接続される場合が発生します。



配線イメージ

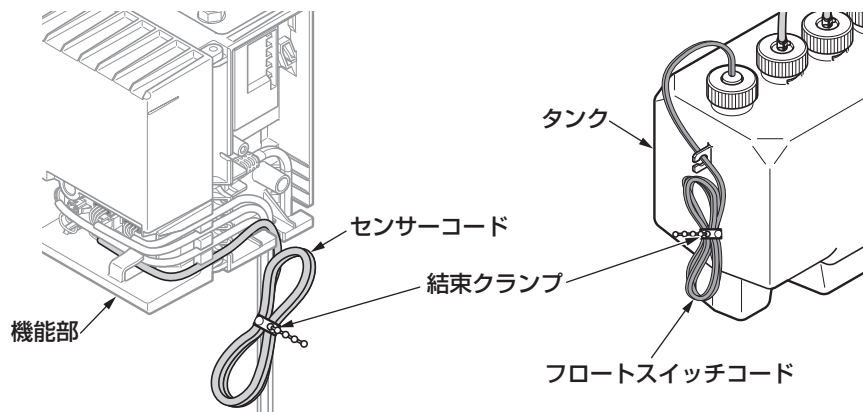


## 7 コードのまとめ

結束クランプを使ってコードをまとめる。

センサーコード

フロートスイッチコード

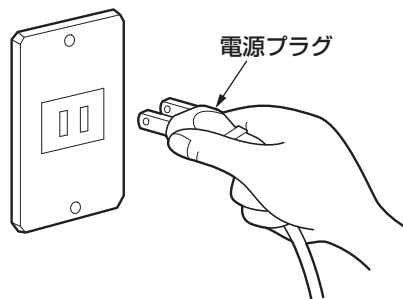


## 8 電源プラグの差し込み

電源プラグをコンセントに差し込む。

**注意**

電源が入ると直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約10秒間でこの動作は完了します。)



## 9 水石けんの補給

タンクに水石けんを補給する。  
※補給方法については、取扱説明書をご参照ください。



**注意**

- 水石けんはあらかじめ別の容器で希釈したものを補給してください。
- スパウト先端のセンサー内ランプの点滅（1秒間に2回）が消えるまで補給してください。(約1L以上)
- 十分に補給してもセンサー内ランプの点滅が消えない場合は、**10** スパウトの固定 を参照してください。

## 水石けんに関する注意点

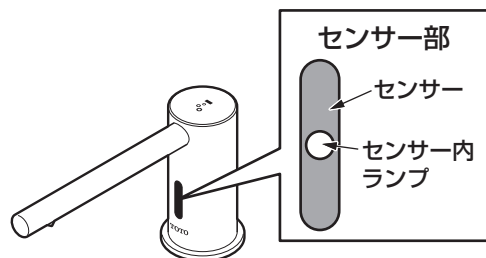
**重要**

- 水石けんは、TOTO 石けん液（原液）をおすすめします。(水石けんは付属しておりません) TOTO石けん液以外をご使用の場合、商品が故障したり、吐出状態が悪くなる場合があります。使用可能な他社水石けんは、<https://jp.toto.com>でご確認ください。
- クレゾールなどの消毒剤および消毒剤の混入された水石けんは使用しないでください。器具破損や吐出状態悪化の原因となります。
- 水石けんが原液タイプの場合  
希釈せず原液のまま補給してください。  
※希釈すると、商品の故障の原因となります。
- 水石けんが希釈タイプの場合  
補給直前に別の容器で希釈し、補給してください。  
原液を先に入れ、あとから水を補給するのはやめてください。  
※吐出状態が悪くなるおそれがあります。  
希釈は水道水で行い、推奨希釈倍率でご使用ください。  
※故障したり、吐出状態が悪くなるおそれがあります。
- 補給に使用する容器はきれいなものを使用してください。  
シンナーなどの有機溶剤・洗剤の空き容器などを使用すると故障・異常の原因となります。
- 空になったまま長時間放置しないでください。  
残った水石けんが固まり、次に使用するときに吐出しにくくなったり、出なくなることがあります。

## 10 スパウトの固定

①センサーに手をかざしたり、洗面器ボウル内に物を置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが**点滅していない**ことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。  
点滅は2タイプあります。



1秒間に2回点滅



水石けん残量不足のお知らせ

1秒間に8回点滅



センサー警告

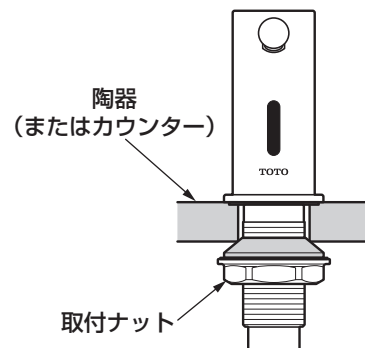
## 注意

陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定してください。  
(ランプの点滅は約10分後に消えます。)

②取付ナットを締め付け、スパウトを陶器(またはカウンター)に固定する。

## 注意

取り付けのときノズルに無理な力を加えないでください。



## 作業が完了しなかった場合

- 自動消滅するまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、電源プラグを一度抜き、差し込み直してください。
- 電源プラグを差し込み直す場合は、**10秒間以上**電源プラグを抜いたままにしてください。

# 7. 試運転

## 1. 取り付け完了後の確認

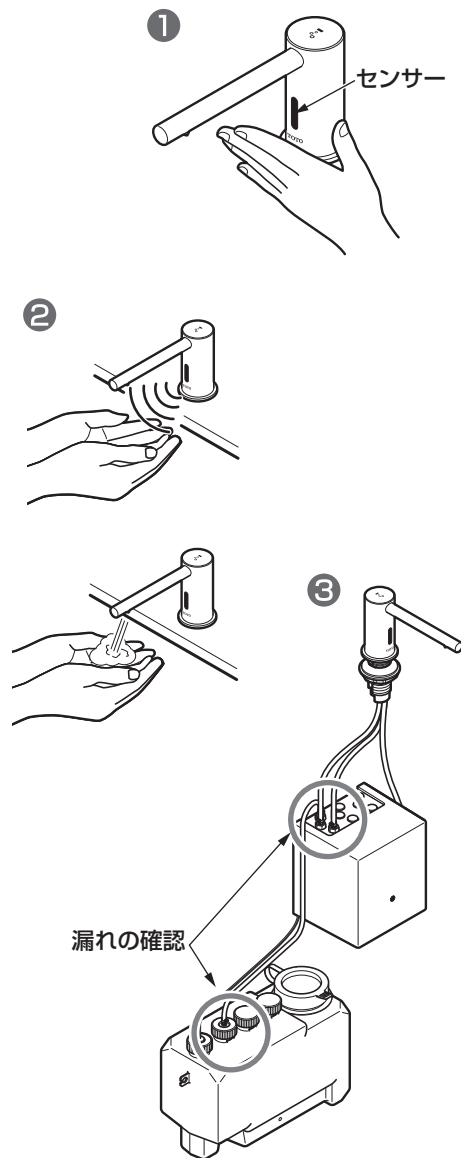
取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

- ① 施工確認モードへ移行する  
電源投入後10分間はセンサーに手を約8秒間感知させると「施工モード」に移行します。感知中は石けんポンプが連続で駆動し、石けんが出続けます。(最大30秒)センサーから手を離すと止まります。空の流路に石けんを満たす用途にご使用ください。

### 注意

- 電源を入れてから10分以上経過している場合は、再度電源プラグを差し込み直してください。
- 電源プラグを差し込み直す場合は、10秒間以上電源プラグを抜いたままにしてください。

- ② 水石けんを出す・止める  
・センサーに手を近づけると水石けんが出ます。  
・手をセンサーから離すと止まります。
- ③ タンク部・水石けんホースの接続部から水石けんが漏れていないか確認する



## 2. 施工後、長期間使用しない場合

施工後、長期間使用しない場合は、ホース内の水石けんが乾燥し吐出不良の原因となるため、**試運転は水**で行ってください。  
また、試運転後はタンク内の水はためたままにしておき、使用開始時に水石けんを入れ替えてください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。